

太陽光発電設備

パネル3,776枚・1,000kW (メガワット級)の太陽光発電設備を設置し、センター内の機械設備や照明などに、発電した電気を使用しています。

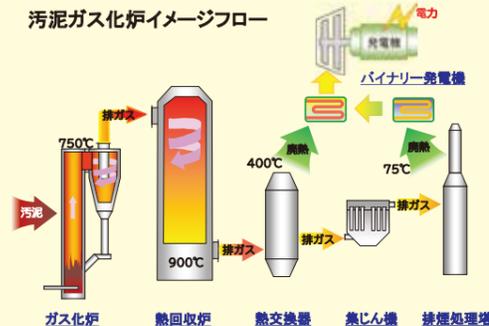


汚泥ガス化炉

下水汚泥を高温でガス化燃焼し、その余剰熱をバイナリー発電に利用します。補助燃料の削減のほか、既存の焼却炉に比べて温室効果ガスを大幅に削減しています。



汚泥ガス化炉イメージフロー



南多摩スポーツ広場

水処理施設の上部空間は、稲城市が管理する「南多摩スポーツ広場」として、グラウンドゴルフなどに利用されています。

<利用申込み・お問い合わせ>

稲城市産業文化スポーツ部スポーツ推進課 TEL042-378-2111(代)



稲城レーダー

「東京アメッシュ」で、降雨状況をリアルタイムで監視する雨量レーダーです。港区に設置したレーダーとともに東京都全域をカバーしています。インターネットに配信、スマートフォン版の提供もしておりますので、ご利用ください。



案内図



下水道局との関係をお互に 実質業者にご注意を!

下水道局では、宅地内排水設備の修理や清掃などを業者に依頼することはありません。

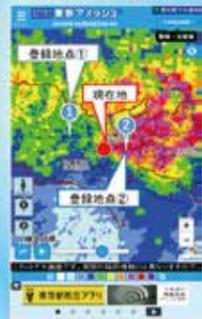
大正時代の趣ある赤レンガ風の建造物や地下施設を見学できます

国指定重要文化財
旧三河島汚水処分場唧筒(ポンプ)場施設



東京アメッシュ

都内とその周辺地域で降っている雨をレーダーと地上雨量計で観測し、リアルタイムに表示するシステムです。



下水道アドベンチャー

下水道についてのクイズに正解して、下水道マイスターを目指そう。



下水道局ホームページ

<https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/>



地域で育む水環境

南多摩水再生センター



南多摩水再生センターは、多摩ニュータウンの建設と歩調を合わせ作られました。処理区域は、多摩市・稲城市の大部分、八王子市・町田市・日野市の一部で、計画処理面積は5,901haです。

従来よりも水をきれいにできるステップA₂O法等の高度処理方式を大部分に採り入れ、処理した水は多摩川に放流しています。また、その一部を繊維ろ過してセンター内の機械の洗浄や冷却などに使用しています。

再生可能エネルギーの太陽光発電・小水力発電・バイナリー発電を最大限活用し、センター内の機械設備を動かしています。

● 処理区域



(令和6年4月現在)

- 運転開始
昭和46年3月
- 敷地面積
251,563m²
- 処理能力
159,250m³/日

● 水処理施設

- 沈砂池 8池
- 第一沈殿池 6池
- 反応槽 7槽
- 第二沈殿池 7池

● 汚泥処理施設

- 重力濃縮槽 2槽
- 濃縮機 3台
- 脱水機 6台
- 焼却炉 2基

● 流入・放流水質

水再生センターからの放流水は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」の水質基準を十分に満たし、魚がすめる水質です。

項目	流入水		放流水	条例による放流水の水質基準
	乞田	稲城・大栗		
BOD	200	180	3	25以下
COD	110	100	7	—
全窒素	36.2	32.6	8.3	30以下
全りん	4.0	4.1	0.9	3以下

令和4年度 24時間試験平均値

※BOD、CODは、数値が高いほど水が汚れていることを示します。BODは、微生物が有機物を分解するのに使う酸素量、CODは酸化剤で有機物を分解して消費する酸素量で測ります。放流水の水質基準は、河川はBOD、海域はCODにより定められています。全窒素、全りんは、赤潮の発生などと深くかかわっています。

